

会議の名称	令和7年度第1回(第24回)舞鶴市地域公共交通会議	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和8年2月12日(木) 11時00分～11時40分	
開催場所	舞鶴市政記念館ホール (赤れんがパーク2号棟)	
出席者	舞鶴市地域公共交通会議委員 21名(代理出席者含む)	
議題	<p>[協議事項]</p> <p>(1) 京都交通バスのダイヤ改正について</p> <p>(2) 高野地域協議会の自家用有償旅客運送登録の有効期限の更新登録について</p> <p>(3) 青井校区協議会の自家用有償旅客運送登録の有効期限の更新登録について</p>	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果及び主な意見等	<p>(1) 京都交通路線バスのダイヤ改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で協議成立 <p>(2) 高野地域協議会の自家用有償旅客運送登録の有効期限の更新登録について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で協議成立 <p>(3) 青井校区協議会の自家用有償旅客運送登録の有効期限の更新登録について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で協議成立 	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市 政策推進部 企画政策課 TEL (0773)66-1042
-----	--------------------------------------

第24回舞鶴市地域公共交通会議 会議録

- 日時：令和8年2月12日（木）11時00分～11時40分
- 場所：舞鶴市役所別館5階 中会議室
- 出席者：別紙のとおり（全委員23名中、代理出席含む21名が出席）

1. 開会挨拶 舞鶴市長 鴨田秋津

2. 協議結果 下記全て、全会一致のもと協議が成立

- (1) 京都交通バスのダイヤ改正について
- (2) 高野地域協議会の自家用有償旅客運送の有効期間の更新の登録について
- (3) 青井校区協議会の自家用有償旅客運送の有効期間の更新の登録について

3. 質疑・意見等

[協議事項]

(1) 京都交通バスのダイヤ改正について

- ◆京都交通 高橋 主任から概要説明。
質疑・意見等なし

(2) 高野地域協議会の自家用有償旅客運送の有効期間の更新の登録について

- ◆高野地域協議会 平野 会長から概要説明。

(京都運輸支局 中野委員)

- ・運行開始時点から利用数が増加しており、単なる移動支援のみならず、ご高齢の方の外出機会創出にもなり健康増進にも寄与している。
- ・協賛金を募っていきたいとの話であったが、この取組を続けていくためにも理想論だけでは難しく、先立つものは必要で、地域全体で支えるという趣旨でも色々とできることを検討いただいております、順次取り組んでいただければと思う。
- ・アプリ利用についてはインストールされているけど使用されていないのか、そもそもインストール自体も難しい状況なのか、お伺いしたい。

(高野地域協議会 平野委員)

- ・事務局スタッフが支援をする中で、殆どの会員がインストールされているが、ここでハードルが高い人も中にはおられる。また、インストールしていざ使おうとしても、画面が小さくて見えないなど違う障壁もあったりする。更にはスマホ・アプリというだけで嫌厭する方も中にはおられる。
- ・一方で、使用された方からは「使い勝手が良かった。」「電話予約なら事務所開設時間を気にしなければならないが、アプリであれば自分のタイミングで依頼できるので良かった」などの意見もお聞きしているので、我々も改善しながら次へ繋げていきたいと考えている。

(京都運輸支局 中野委員)

- ・使ってみたら割と便利だったということが分かっていただけのものと思っており、一度試してもいいから使ってみてほしいとお伝えいただくのが重要かと考える。

(舞鶴工業高等専門学校 玉田委員)

- ・経費が嵩んでいるとのことであるが、例えば全員アプリ利用に転換できれば、事務局スタッフは常駐しなくても良いという考え方もあるが、無人でも運営できるような状態なのか、やはりスタッフは必要なのか所感はいかがか。

(高野地域協議会 平野委員)

- ・ 運行開始時点では、アプリ利用に転換されれば事務局スタッフは不要と考えていたが、ご利用者でも独居の高齢者がおられ、相談役にもなっている面もあり、運行だけ考えるのであれば不要かもしれないが、運行継続する中でそのような付加価値が生じているところもあり、スタッフは必要ではないかと感じている。

(舞鶴工業高等専門学校建設システム工学教授 玉田委員)

- ・ 単にマッチングするだけでなく、そういう付加価値があり地域のインフラとして、地域全体でそれを享受できる価値があるということで、具体的に協賛を集めるのは難しいと思うが、頑張っていて続けていただきたい。

(3) 青井校区協議会の自家用有償旅客運送の有効期間の更新の登録について

- ◆ 青井校区協議会 松田 副会長から概要説明。
質疑・意見等なし

4. 閉会

(京都運輸支局 中野 首席運輸企画専門官)

- ・ お集まりの皆様が一体となって地域公共交通の確保に取り組んでいただいていることをこの場を借りて敬意と感謝を表す。
- ・ また舞鶴市は京都交通に加えて、自主運行バスやmeemoなど、多様な主体が協力しながら取り組んでおられ、市全体で地域交通を互いに支えておられるところは他でもない舞鶴市の特徴であると認識しており、今後とも限られた資源を有効に活用して頑張っていたいただければと思う。
- ・ その上で、運送においては、やはり安全が第一であると認識しており、今回の協議事項でもありました「自家用有償旅客運送の更新制度」は、それぞれ自らの運送を定期的にチェックして見直す機会を設けているという側面もあります。
- ・ 現在「自主運行バス」として運行されておられる皆様におかれましても、現行法の「自家用有償旅客運送」に切り替えるということも引き続き検討いただければと存じます。

以上